

南予3市の復旧・復興対策進捗状況

H30.7.30 県災害対策本部とりまとめ

	避難所数 避難者数 等	水道	仮設住宅 (借上げ含む)	災害ゴミ処理	道路	被害認定調査 罹災証明書交付 等	農業	産業	観光業
大洲	<p>避難所 最大26ヶ所 (7/8時点※) →17ヶ所(7/30時点) ※7/7以前の避難所数は未集計</p> <p>避難者 最大1,419人 (7/7時点) →141人(7/30時点)</p> <p>孤立集落 最大4地域(7/8時点) →7/10解消</p>	<p>■断水解消(上水道/簡易水道) 【経緯】 ○上水道 ・7/7 断水発生 ・7/18 生活用水として復旧 ・7/20 飲料水として復旧</p> <p>○簡易水道 ・7/7 断水発生 ・7/11 復旧</p>	<p>【建設型】 徳森公園(45戸)、大駄場ふれあい広場(15戸)で7/23に着工。 8月下旬の完成予定。</p> <p>【借上げ型】 7/23から市窓口で、申込みの受け付け開始。</p> <p>【応急修理】 7/29現在、申込み件数331件。</p>	<p>○道路脇・地区の仮置場の家財等のごみは、8月10日までに市設置の仮置場(5ヶ所)に搬入予定</p> <p>○仮置場で分別の上、市施設や民間事業者で、順次、焼却・リサイクル、埋立等を実施</p> <p>※今後、損壊家屋等の取り壊しによる解体ごみが発生するため、解体撤去の検討を進める。</p>	<p>○県管理道路 全面通行止</p> <p>最大29ヶ所 →5ヶ所 (内訳) ・8月上旬解除予定 1ヶ所 ・9月末解除予定 2ヶ所 ・早期復旧に向けて調査中 2ヶ所</p>	<p>○被害認定調査実施済棟数 …3,016棟 ○罹災証明願受付件数 …3,495件 ○罹災証明書交付済件数 …492件 (7/30時点) ・8月上旬交付完了を目指して事務作業中</p> <p>○被災者生活再建緊急支援事業 ①7/20市町説明会、7/24プレスリリース ②県の事業を受け、罹災証明を発行している被災者に対し、7/25から順次受付開始</p>	<p>・五郎地区の露地野菜(すいか)の圃場で、ゴミ等を撤去後、耕うんを行うなど、8月下旬からの「はくさい」の植え付け準備の動きが拡大(約9割で終了) ・広川沿岸の水田地域において、約20か所の農業用揚水ポンプが浸水で稼働不可となっていたが、補修工事が完了 ・JA愛媛たいき大洲ライスセンターの被災により、米の乾燥・調整が不可、当面、早期米(8月中旬頃)は五十崎のライスセンターで処理、普通期米(ヒノヒカリ、にこまる)は10月上旬頃より、JA東宇和で受け入れる予定</p>	<p>災害直後、県内主要企業217社に聞き取り、44社被害。うち操業停止20社(宇和島4、大洲15、西予1) ・7月中再開 6社 ・8月中再開 3社 (11社は9月以降)</p> <p>7/30 被災企業へのオーダーメイド型支援のため、経産省、県・市・金融機関・商工会議所等でチームを組み、訪問調査を開始。</p> <p>【資金面に対する支援】 ●7月専決補正予算で融資枠30億円の「災害関連対策資金」(低利、保証料を県が全額補助、3市が利子補給予定)を新設し、次のとおり融資等説明会を開催。 宇和島市(7/30、8/6) 大洲市(8/1、8/22) 西予市(8/8)</p> <p>●中小企業等の施設整備の復旧費・工事費を補助する「グループ補助金」の創設等を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>	<p>【道後温泉】 ・入浴客数 7/6～9で約20%減 →7/14～16(3連休)は約2%減と回復傾向 ・宿泊客数 7/6～13で4,567人のキャンセル</p> <p>【主要観光施設】 休止20施設(7/11) →8施設(7/30) 大洲:2施設 西予:3施設(再開) 野村農業公園 松野:1施設 宇和島:2施設</p> <p>【旅館ホテル】 ・休止6施設(7/11) →3施設(7/20) 大洲:2施設 西予:1施設</p> <p>*7/6～20で県全体のキャンセル人数は約7万人(推計) →観光消費額への影響は約17億円 →10月まで3割程度の減少が続く見込み</p> <p>*熊本地震で適用されたふっこう割と同様の制度の適用など、誘客に向けた支援を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>
西予	<p>避難所 最大21ヶ所 (7/8時点※) →7ヶ所(7/30時点) ※7/7以前の避難所数は未集計</p> <p>避難者 最大954人(7/7時点) →144人(7/30時点)</p> <p>孤立集落 最大5地域(7/8時点) →7/13解消</p>	<p>■断水解消(上水道/簡易水道) 【経緯】 ○野村地区 ・7/7 断水発生 ・7/15 飲料水として順次復旧 ・7/20 飲料水として完全復旧</p> <p>○宇和地区 ・7/7 断水発生 ・7/11 復旧</p>	<p>【建設型】 野村運動公園(74戸)、旧野村小学校(24戸)で7/23に着工。 8月下旬の完成予定。</p> <p>【借上げ型】 7/23から市窓口で、申込みの受け付け開始。7/29現在、物件申込み数5件、うち入居決定数2件。</p> <p>【応急修理】 7/29現在、申込み件数16件。</p>	<p>○野村地区の家財等のごみは、概ね、仮置場に搬入</p> <p>○8月から仮置場を9ヶ所から4ヶ所に集約予定</p> <p>○仮置場で分別の上、民間事業者が、順次、焼却・リサイクル、埋立等の処分を実施</p> <p>※今後、損壊家屋等の取り壊しによる解体ごみが発生するため、解体撤去の検討を進める。</p>	<p>○県管理道路 全面通行止</p> <p>最大24ヶ所 →3ヶ所 (内訳) ・8月上旬解除予定 1ヶ所 ・8月中旬解除予定 1ヶ所 ・早期復旧に向けて調査中 1ヶ所</p>	<p>○被害認定調査実施済棟数 …667棟 ○罹災証明願受付件数 …718件 ○罹災証明書交付済件数 …85件 (7/30時点) ・8月上旬交付完了を目指して事務作業中</p> <p>○被災者生活再建緊急支援事業 ①7/20市町説明会、7/24プレスリリース ②県の事業を受け、罹災証明を発行している被災者に対し、7/24から順次受付開始</p>	<p>・南予用水では、畑地かんがい施設の応急利用を技術支援中、現時点で約7割(1割増加)のスプリンクラーが使用可能まで回復 ・野村地区の露地野菜(きゅうり)の被災農家の約5割で、代替地での定植作業を開始 ・高山漁港の養浜砂流出被害の早期復旧に向け、水産庁、西予市と協議中</p>	<p>●7月専決補正予算で融資枠30億円の「災害関連対策資金」(低利、保証料を県が全額補助、3市が利子補給予定)を新設し、次のとおり融資等説明会を開催。 宇和島市(7/30、8/6) 大洲市(8/1、8/22) 西予市(8/8)</p> <p>●中小企業等の施設整備の復旧費・工事費を補助する「グループ補助金」の創設等を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>	<p>【旅館ホテル】 ・休止6施設(7/11) →3施設(7/20) 大洲:2施設 西予:1施設</p> <p>*7/6～20で県全体のキャンセル人数は約7万人(推計) →観光消費額への影響は約17億円 →10月まで3割程度の減少が続く見込み</p> <p>*熊本地震で適用されたふっこう割と同様の制度の適用など、誘客に向けた支援を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>
宇和島	<p>避難所 最大22ヶ所 (7/10時点※) →11ヶ所(7/30時点) ※7/8以前の避難所数は未集計</p> <p>避難者 最大510人(7/9時点) →119人(7/30時点)</p> <p>孤立集落 最大1地域(7/7時点) →7/8解消</p>	<p>■吉田・三間地区に新たな浄水施設を整備中(8月上旬通水見通し) 【経緯】 ・7/7 断水発生 ・7/8 代替浄水場の検討開始 ・7/19 「8月下旬」通水見通し公表 ⇒更なる期間短縮の検討 ・7/24 「8月上旬」通水見通し公表 ・7/26 1,600トンのろ過装置の搬入により、本格的な整備作業に着手</p> <p>※給水車等により飲料水・生活用水を供給 《未復旧(7/30 12時現在)》 吉田地区:2,852戸、6,737人 三間地区:1,982戸、4,649人 合計:4,834戸、11,386人</p>	<p>【建設型】 吉田児童公園(12戸)で7/27に着工。8月下旬完成予定。残りは、宇和島市と連携し、候補地選定作業中。候補地決定後、速やかに着手予定。</p> <p>【借上げ型】 7/23から市窓口で、申込みの受け付け開始。7/29現在、物件申込み件数5件。</p> <p>【応急修理】 7/29現在、申込み件数116件。</p>	<p>○吉田地区の家財等のごみは、概ね、仮置場に搬入</p> <p>○吉田・三間地区の仮置場(8ヶ所)は、1ヶ所(大浦港瀆緑地)に集約し、分別の上、組合焼却施設や民間事業者で、順次、焼却・リサイクル、埋立等の処分を実施</p> <p>○吉田・三間地区の仮置場(8ヶ所)から、ごみを搬出し、組合焼却施設や民間事業者で、順次、焼却・リサイクル、埋立等の処分を実施 ※うち3ヶ所の仮置場は搬出完了</p> <p>※今後、損壊家屋等の取り壊しによる解体ごみが発生するため、解体撤去の検討を進める。</p>	<p>○県管理道路 全面通行止</p> <p>最大27ヶ所 →1ヶ所 (早期復旧に向けて調査中)</p>	<p>○被害認定調査実施済棟数 …1,631棟 ○罹災証明願受付件数 …1,263件 ○罹災証明書交付済件数 …524件 (7/30時点) ・8月上旬交付完了を目指して事務作業中</p> <p>○被災者生活再建緊急支援事業 ①7/20市町説明会、7/24プレスリリース ②県の事業を受け、罹災証明を発行している被災者に対し、7/28から順次受付開始</p>	<p>・南予用水では、畑地かんがい施設の応急利用を技術支援中、現時点で約5割(1割増加)のスプリンクラーが使用可能まで回復 ・南予用水の南北分水工(宇和島方面と伊方方面へ分水)の補強工事が完了 ・スプリンクラー使用可能地域で防除作業を実施中、動力噴霧器による個人防除も実施中 ・吉田地区の比較的被害の軽微な土砂災害被害圏では、自力でほ場の修復を開始 ・鶏舎浸水による死亡鶏の処分は完了し、再建に向けて除糞や消毒等の衛生対策を実施中 ・漁港施設災害(泊地埋塞、護岸損壊、陸間破損)については、8月末～9月に工事着手予定</p>	<p>●7月専決補正予算で融資枠30億円の「災害関連対策資金」(低利、保証料を県が全額補助、3市が利子補給予定)を新設し、次のとおり融資等説明会を開催。 宇和島市(7/30、8/6) 大洲市(8/1、8/22) 西予市(8/8)</p> <p>●中小企業等の施設整備の復旧費・工事費を補助する「グループ補助金」の創設等を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>	<p>【旅館ホテル】 ・休止6施設(7/11) →3施設(7/20) 大洲:2施設 西予:1施設</p> <p>*7/6～20で県全体のキャンセル人数は約7万人(推計) →観光消費額への影響は約17億円 →10月まで3割程度の減少が続く見込み</p> <p>*熊本地震で適用されたふっこう割と同様の制度の適用など、誘客に向けた支援を、岡山・広島と3県共同で国に要望(7/27)</p>

【電気】 県全体で最大約14,460戸停電(7/7 18:00時点)→7/14復旧(ただし、利用者が不在のため安全が確認できない場合等の例外的ケースを除く。)

【鉄道】 JR四国…松山～伊予市間普通列車以外は全て運休(7/7時点)→一部区間(特急:八幡浜～宇和島間ほか)を除き運行(一部区間で間引き運転中)。なお、不通区間においては代替バスを運行(7/30時点)

※[予讃線]伊予市～伊予大洲間(海回り)・8/10運転再開予定、卯之町～宇和島間・9月中を目処に運転再開予定 [予土線]宇和島～窪川間・8/10運転再開予定

【バス】 一部路線を除き全て運休(7/7時点)→一部路線(宇和島自動車:西予市内の一部ほか)を除き、運行(7/30時点)